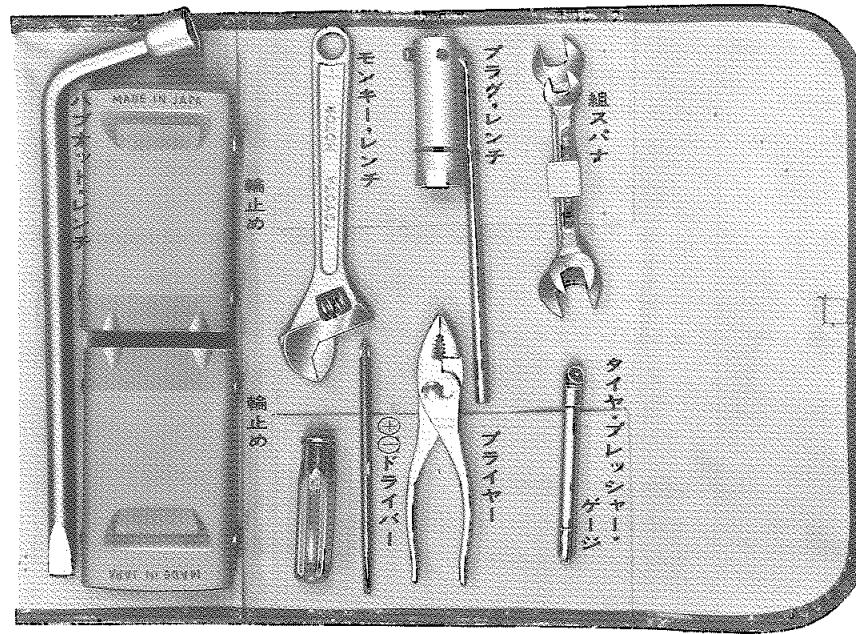


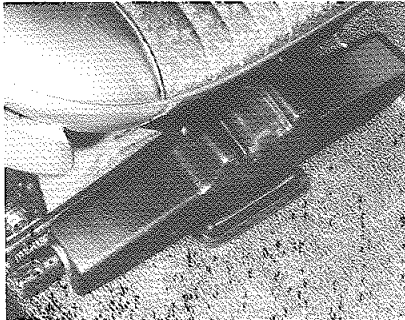
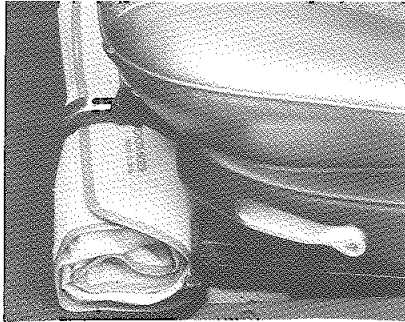
車の簡単な手入れと処置

工具

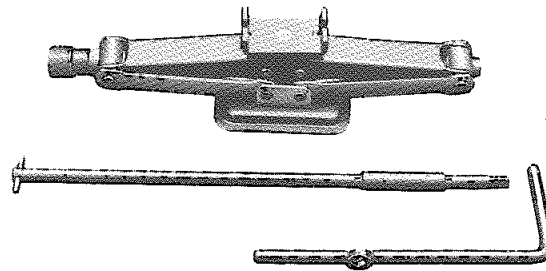


工具とジャッキ

■ジャッキ格納位置



ジャッキ



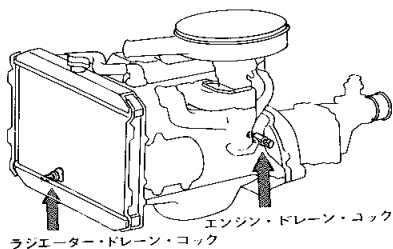
冷却水の交換

マークIIには、必ずロングライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロングライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年または40,000kmで交換してください。交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

1. 図に示すエンジン・ドレイン・コック、ラジエーター・ドレイン・コックをはずし、冷却水を全部出します。



2. 水道の水でラジエーター内を洗浄し、エンジン・ドレイン・コックとラジエーター・ドレイン・コックを取り付けます。
3. ロングライフ・クーラントの注量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度	-15°Cまで	-38°Cまで
ロングライフ・クーラントの濃度	30%	50%
参考	冷却水量	8 ℓ

冷却水の補給

冷却水を補給する場合は上記の表の割合でロングライフ・クーラントを補給してください。

④ ⑤ ⑥

1. 新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが異常ではありません。
2. 補給はリザーブ・タンクに行なってください。LOWとFULLのレベルの間に保ってください。FULL以上は入れないでください。

吸気コントロール・バルブ

オプション

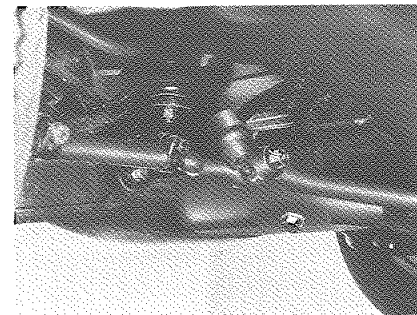
エア・クリーナー・ケースの吸気口にはバルブが設けてあり、バルブを操作することにより、吸入する空気の温度を調節できます。

バルブを操作するときは、吸気口の右横のネジを左に回してゆるめてから、ネジを持って前後に移動させます。(バルブ操作は外気温15°Cを基準して行ないます。)

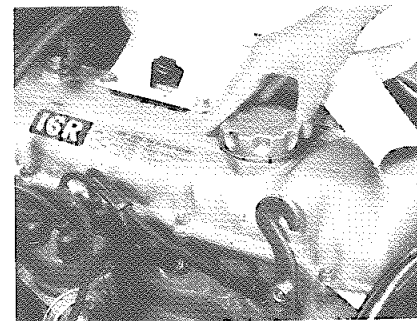
レバー操作は表示ラベルに従って操作は確実にしてください。

エンジン・オイルの交換

1. エンジンのドレイン・プラグとオイル・フィラ・キャップをはずしてオイルを出します。



2. エンジン・ドレイン・プラグを取り付け、オイルを注入します。



オイルはトヨタ純正キャッスル・モーター・オイルをご使用ください。

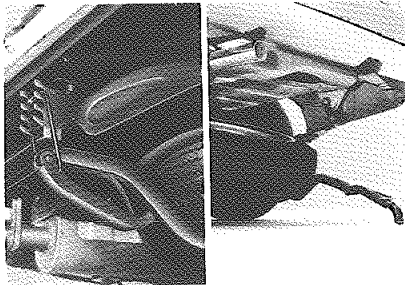
パンクの処置

■パンクの処置

車を道路の左はしによせて

1 = 工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。

2 = スペア・タイヤの取り出し方

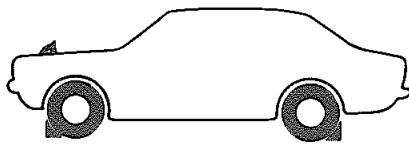


ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。

スペア・タイヤ・キャリアをそっとおろし、スペア・タイヤを取り出します。

盗難防止のため、錠前などで施錠することもできます。

4. 輪止めをします。

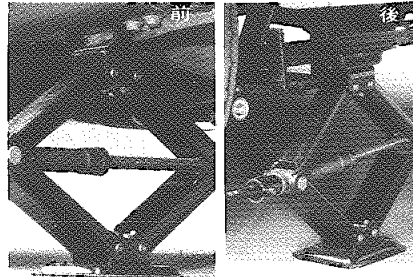


左側パンク時……右側前後のタイヤ
右側パンク時……左側前後のタイヤ

5. ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤのボデーの下に置きます。

6. ホイール・キャップをドライバーではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。

7. ジャッキをセットします。

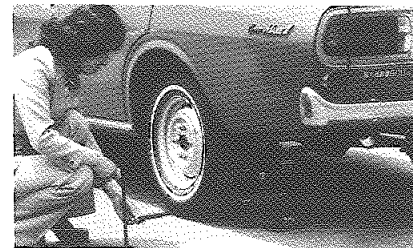


交換する車輪に近いサイド・メンバーにジャッキをセットします。

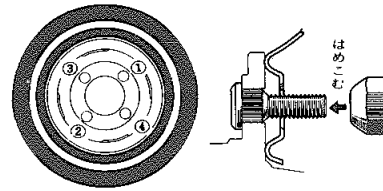
サイド・メンバーの前端、後端にジャッキの受けがあります。

8. タイヤが、がたつかない程度にハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。

9. タイヤと道面とが少しあくまでジャッキ・アップします。



10. ナットをはずします。



11. タイヤをとりかえます。

12. タイヤがガタつかない程度にナットを締めます。このときナットの方向をまちがえないように確かめましょう。

13. ジャッキをはずします。

14. ナットを確実に締めつけます。

15. タイヤの空気圧を正規にします。

16. タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップをとりつけます。

17. 工具をもとにもどし、パンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

★注意

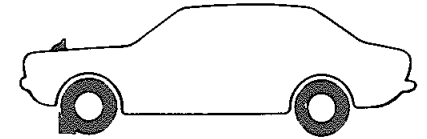
チューブレス・タイヤのパンク修理は、チューブ入りタイヤと修理方法がちがいますので、確実に修理のできる工場で行なってください。

タイヤ・チェーン

タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

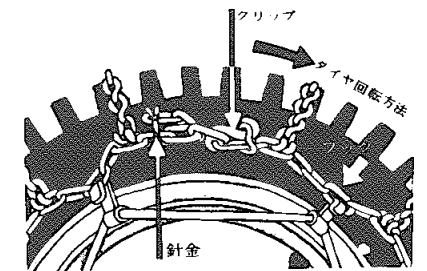
〈取り付け方〉

1 = 前輪に輪止めをし後輪をジャッキ・アップします。



2 = クロス・チェーンの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。

3 = チェーンを両端をいっぱい引いて連結します。余ったチェーンは、ボデーに当るのを防止するために図のように針金で結びます。



4 = チェーン・バンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンをひっぱります。

5 = ジャッキをはずします。

〈取りはずし方〉

1 = チェーン・バンドをはずし、針金をとって内側クリップは先にはずします。

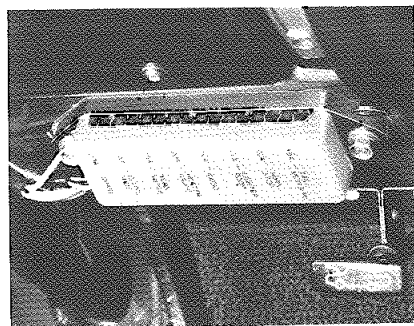
2 = 車を少し動かしチェーンを取り出します。

★注意★

タイヤ・チェーンを装着して走行する場合は速度を50km/h以下で走行してください。

ヒューズ、ランプの交換

〈故障の調べ方〉



運転席、右足もとのヒューズ・ボックスのふたをとるとふたにヒューズ容量と主回路が記入してあります。

そのヒューズの受けもっている配線全部が作用しないときはヒューズきれと考えられます。

1つだけ作用しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

〈ヒューズの交換〉

1 = ヒューズ・ボックスのふたをとります。

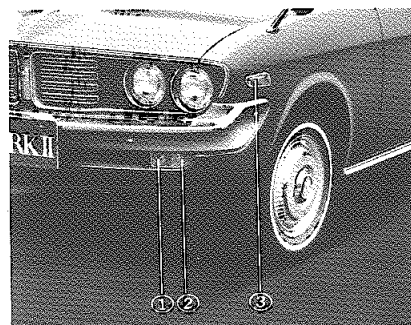
2 = ヒューズをはずします。

3 = 切れたものと同容量のヒューズを交換します。

何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

■ランプの交換

フロント側

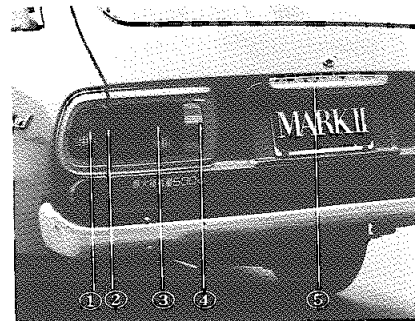


- ①スモール・ランプ&フロント・パーキング・ランプ(7/3.4W)
 - ②フロント・ターン・シグナル・ランプ&ハザード・ウォーニング・ランプ(23W)
 - ③サイド・ターン・シグナル・ランプ(8W)
- バルブを取るときはレンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押し込んで左へまわしてはずします。バルブをはめるときはバルブをいっぱい押し込んで右にまわしてください。ダブル・フィラメント・バルブは、ボッチの位置が左右ちがいますのでご注意ください。

★注意★

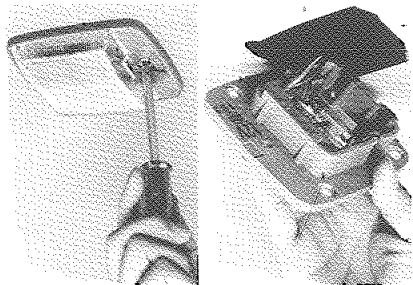
ソケットおよび接点部の錆、汚れは取ってください。

リヤ側



- ①テール&パーキング・ランプ(8/3.4W)
 - ②ターン・シグナル・ランプ(23W)
 - ③ストップ&テール・ランプ(23/8W)
 - ④バック・ランプ(23W)
- レンズ表面のネジをはずしてランプ・ソケットを左にまわしてはずします。はめるときは、切り欠きをあわせて右へまわします。パーキング・ランプは引っぱるとはずれます。
- ⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)
- カバーのネジ2箇所をはずしてレンズを取り、バルブをいっぱい押し込んで左にまわしてはずします。

ルーム・ランプ



ルーム・ランプ(10W)

バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っぱり出してウラ側からバルブを取りはずします。

デッキ・ルーム・ランプ(10W)

手でランプ・カバーをはずし電球を交換します。

断線したヒューズを発見するための一覧表

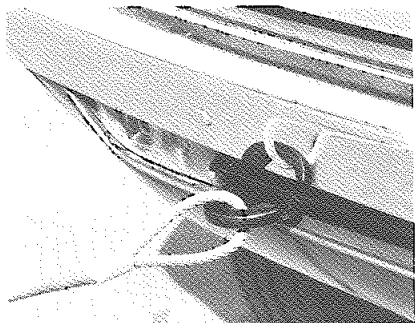
点灯および 作動箇所		テ ー ル ラ ン プ	フ ロ ン ト の 車 中 灯	ナ ン バ ー ブ レ ー ト ラ ン プ	コ ン ビ ネ ー シ ョ ン メ ー タ ー 内 照 明 ラ ン プ	ホ ー ン	ス ト ッ プ ラ ン プ	駐 車 灯	シ ガ レ ッ ト ラ イ タ ー	時 計	ラ ム ジ オ	ラ ジ オ	ヒ ー タ ブ ロ ワ モ ー タ ー	コ ン ビ ネ ー シ ョ ン メ ー タ ー 内 ゲ ー ジ	バ ッ ク ア ッ プ ラ ン プ	ワ イ パ ー モ ー タ ー	ウ イ ン ド ウ オ ッ シ ャ ー	タ ー ン シ グ ナ ル ラ ン プ	ハ ザ ー ド ウ ォ ー ニ ン グ ラ ン プ	ボ ル テ ー ジ レ ギ ュ レ ー タ (IG 端 子)	イ グ ニ ッ シ ョ ン コ イ ル (一 次 電 流)
ヒューズ		左右	左右																		
TAIL, METER, PL	15A	○	○	○	○																
HORN, STOP	20A					○	○	○													
LIGHTER, ROOM	15A								○	○	○										
RADIO	15A										○										
HEATER, GAUGE	20A											○	○	○							
TURN, WIPER	15A															○	○	○			
IG, COIL, GEN	15A																			○	○
SPARE	20A																				

※ 1. 不具合のある箇所は点灯または作動しません。
 2. スペア・ヒューズはケース・カバーに (スペア・ヒューズ-15A, 20Aが各1本) があります。

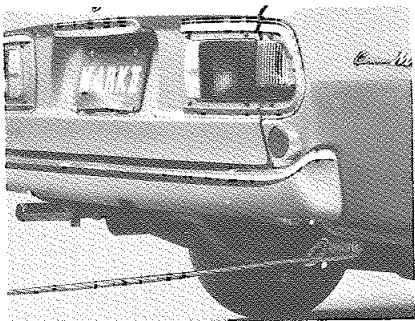
けん引について

けん引ロープをかける位置 フロント

けん引フック(オプション)を取り付けてください。

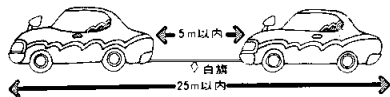


リヤ



右側のフックを使用してください。左側のフックは新車時車両輸送用のものです。使用しないでください。

けん引のしかた



けん引車は急発進、急停車をしないようにし、けん引される車はけん引車のストップ・ランプに注意し常にロープがたるまないように気をつけましょう。

外装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)の手入れが必要です。

ボディのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときはカーシャンプーを使用しましょう。

塩分や凍結防止剤が付着したときは早く洗車しましょう。

ワックスがけはボディにツヤのなくなる前に適時行なってください。

〈洗車方法〉

- 1 = 下まわりを洗います。
- 2 = 十分水をかけながらスポンジかセーム皮で汚れを洗い落とします。
- 3 = 汚れのひどいときは、ボディ温度が下ってからカーシャンプーを使用して洗います。
- 4 = 塗面に、はん点が残らないよう十分水分をふきとります。

〈ワックスがけ〉

- 1 = 1カ月に1度または水のはじきが悪くなったときに行なってください。
- 2 = ワックスがけはボディの温度が体温以下のとき行なってください。
- 3 = 使用方法はワックスの容器に記載されていますから、よく読んでお使いください。

- 4 = ワックスは、トヨタ純正品で下記の名称のものをお使いください。
- オートワックス・デラックス
 - オートワックス・カスタム
 - オートワックス・スペシャル
 - スピーディー・オートワックス・クリーン
 - スピーディー・ショット

ワックスがけ

1. ワックスの中にコンパウンド(細かい砂)の入っていないものをご使用ください。
コンパウンドの入っているワックスを使用すると塗装の表面に細かい傷が残ります。
2. エンジン・ルーム内の電気系統に、水をかけないように注意してください。
エンジン始動不良の原因になります。